

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年7月30日

事業所名 モジラ・アルク (放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			基準を遵守しております。
	2	職員の配置数は適切である	7		配置基準以上の職員を確保している。	不登校傾向児の受け入れを行っており、イレギュラーな対応もある為、今後も、相報連を細かく行う必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		玄関は階段があるが、裏口はバリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	職員でのミーティングを行っている。	多機能型事業所であることから、ミーティングを行う時間について、今後も工夫が必要である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		評価表を活用し業務改善に努めており、今後も継続していく。また、必要に応じ、保護者に対し個別での対応も行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		第三者による評価は行っていない。必要に応じ、業務改善への取り組みや見直しを行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		法人内研修及び定期的なミーティングを開催。	外部研修についても、案内を行い参加を促している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	アセスメント内容については、全職員で共有している。	支援の更なる統一化や共通認識をはかれるよう、今後も工夫を行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		定期的にあセスメントを行うとともに、全職員がその書式や視点について学ぶ機会を設けていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		各職員の得意分野を活かしながら、活動の立案を行っているが、負担の偏りがないよう工夫を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		静と動の活動を組み合わせるとともに、目的やねらいを設定している。	季節や年齢に応じた活動の設定を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		事前に活動計画を立てている。今後更に具体的な設定や工夫を行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼で、その日の活動について確認や周知を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	記録を行う中で、その日の様子について引継ぎを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		こどもの状況や支援内容等記録を行い、日々振り返りや改善に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		計画については、6ヶ月に1回のモニタリングを遵守している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1		基本活動を取り入れている。地域交流については、なかなか行えていない。地域の祭りへの参加など今後積極的に行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		職員でモニタリングを行なったうえで、児発管が中心に参加。	日程や状況に応じ、他職員の参加行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	送迎時の連携は図れている。また、担当者会議等を通じ、支援の共有を図れるよう努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、対象児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	入学時は、担当者会議を通じ、関係機関と情報の共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		現在までに該当児なし。今後必要に応じ、提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		発達障害者支援センターについては、検査を受けた子どもがおり、今後も連携を図っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4		児童クラブを並行利用されている子どもがおり、情報の共有は行っている。また、児童館に訪問するなど、活動で利用させてもらっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		都城市は児童部会に放課後等デイサービスの参加が出来ない状況。今後、積極的に参加の意思を示していきたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎の際に、その日の様子をお伝えしている。また、ご家族からも家での様子をお伺いしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		必要に応じ、随時対応を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		契約時及び必要に応じ行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			必要に応じ、随時対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		現在、保護者会の設置はしていません。今後、検討をしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	丁寧な対応を心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		双方の思いに寄り添いながら、表出された言葉や気持ちにずれが見られた際は、伝達の配慮を行っている。	今後も丁寧な関わりや配慮を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		今後計画をしていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	6		マニュアルの周知徹底を今後丁寧に行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3	概ね、火災、地震、防犯、水難の順で訓練を施行している。	今後、地域と一緒に訓練等を行うことで、地域とのつながりも築いていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	定期的に行っている。	今後も継続的に行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	4	契約時に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6	契約時にご家族に確認をしている。	現在利用されている子どもには対象児はいない。今後必要に応じ、随時対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		ヒヤリハットでの報告、周知について行っているが、事例集の作成は行っていない。今後も情報の共有に努める。